

ACBAR はジャララバードにおける NGO への攻撃を強く非難する

2018 年 1 月 25 日

ACBAR は 1 月 24 日水曜日に起こったナンガルハル県ジャララバード市における NGO 事務所への攻撃に衝撃を受け、強い非難を表明する。一般市民 5 名の方が亡くなり、6 名の子どもを含む 21 名の方が負傷されたと報じられている。

ACBAR は、加盟団体を代表し、亡くなられた方のご家族に哀悼の意を表するとともに、この事件の原因と経緯について、迅速で独立した透明性のある捜査を支持する。

ACBAR 代表者フィオナ・ゴールは以下のように意見表明する。「非政府組織 (NGO) が、その人員、財産、活動が攻撃されないという保証のもと、その利益を受ける人々のために活動を行うことができることは極めて重要である。」

2017 年、援助団体に対する攻撃は 377 件にのぼり、紛争の犠牲になった援助活動従事者は 17 名にのぼる。ACBAR はアフガニスタンの全当事者に NGO、その職員、施設の中立性ならびに、援助活動従事者と一般市民の保護を規定する国際人道法の原則を尊重するように要請する。

援助活動従事者へのいかなる攻撃、威嚇、暴力、脅迫も、最終的には活動履行の遅れにつながり、アフガニスタンの人々の福祉に否定的な影響をもたらしてしまうものとなる。

(日本国際ボランティアセンター (JVC) 仮訳)